

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ジャパン マリンユナイテッド株式会社 因島事業所

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市因島土生町 2477-16

(3) 業種

3131 船舶製造・修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、令和3年度から令和7年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度	令和 7 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー 起源CO2	5,894	3,027 (48.6)	710.0 88.0	707.0 88.0			
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	5,894	3,027 (48.6)	710.0 88.0	707.0 88.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**総労働時間(千時間)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度	令和 7 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー 起源CO2	6.3	3.3 -46.9	0.9 85.3	0.9 85.4			
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	6.3	3.3 -46.9	0.9 85.3	0.9 85.4	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	2.2	1.6 -26.3	1.8 16.6	1.7 19.8	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	2022年度温室効果ガス総排出量 707 t CO ₂ 温室効果ガス排出量は約0.4%減少している。原単位でも約1.2%減少している。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の使用量前年度比約18%減少	1. 温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換 (LNGの導入) 2. 自動車の効率的運用 (アイドリングストップ) 3. 省エネパトロールによる啓蒙 4. 自動車のEV化への検討
2	電気使用量の削減	電気の使用量前年度比約0.3%減少	1. 電力の契約先の変更 (CO2排出係数の減少) 2. 省エネ型電気機器への更新 (エアコン・給湯器) 3. 冷暖房温度の適正管理 4. 効率的な休日出勤 5. エア漏れ防止による、コンプレッサ稼働率の削減 (エア配管更新等設備補修) 6. 昼休みの消灯 7. 事務所・工場の照明をLED照明に転換 8. 省エネパトロールによる省エネに対する啓蒙
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。